

発達臨床研修【3時間を基本とした講義セット】

※臨床発達心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-2-1	高齢者支援の実際（226分）	老いと死　―医療現場における看取り―	◎	59分	神田橋　宏治（としま昭和病院、医師）	5,500円
		認知症の理解と支援	◎	50分	繁田　雅弘（東京慈恵医科大学、主任教授）	
		高齢者・その支援者を共に支える	◎	52分	繁田　雅弘（東京慈恵医科大学、主任教授）	
		高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	◎	65分	加藤　伸司（東北福祉大学、教授）	
B-2-2	対人支援として知っておきたい基礎知識　―自傷・自殺（自死）・貧困―（210分）	自傷について	◎	61分	松本　俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部部长(兼任)薬物依存症センター、センター長）	5,500円
		自殺（自死）について	◎	57分	新井　肇（関西外国語大学、教授）	
		貧困の理解	◎	92分	松本　伊智朗（北海道大学、名誉教授）	
B-2-3	他者を傷つけること　―暴力について考える―（189分）	暴力や加害の背景にあるもの	◎	56分	藤岡　淳子（大阪大学、名誉教授）	5,500円
		虐待、DV、いじめ、ハラスメント　―弱者への暴力を考える―	◎	75分	中村　正（立命館大学、教授）	
		暴力の世代間伝達	◎	58分	野坂　祐子（大阪大学、教授）	
B-2-4	さまざま文化や多様性についての理解を深める（211分）	文化における普遍性と多様性 ―進化心理学、社会心理学、人類学の視点から捉える―	○	37分 35分 35分	長谷川　眞理子（総合研究大学院大学、前学長） 外山　みどり（学習院大学、名誉教授） 波平　恵美子（お茶の水女子大学、名誉教授）	5,500円
		マイノリティの文化と心理的支援 ―さまざまなマイノリティと多様性の理解―	○	45分 21分 38分	加賀美　常美代（目白大学、教授） 葛西　真記子（鳴門教育大学、教授） 熊谷　晋一郎（東京大学、准教授）	
B-2-5	生命の誕生・発達・成長について考える（180分）	生命倫理　―医療の高度化と倫理―	◎	67分	香川　知晶　（山梨大学、名誉教授）	5,500円
		いのちの誕生　―NICUにおける支援―	◎	55分	永田　雅子（名古屋大学、教授）	
		脳とこころの発達　―脳科学の知見から―	◎	58分	黒田　公美（東京工業大学　生命理工学院、教授）	
B-2-6	家族・生活とこころについて考える（208分）	基本的人権の尊重と今日的課題	◎	60分	岩佐　嘉彦（日本子ども虐待防止学会理事長、弁護士）	5,500円
		家族　―我が国における家族の変遷―	◎	60分	神谷　哲司（東北大学、教授）	
		家族像とアイデンティティ ―社会的養育における身近な大人の役割―	□	55分	神谷　哲司（東北大学、教授） 松永　忠（社会福祉法人別府光の園、統括施設長） 国分　美希（社会福祉法人至誠学舎立川　至誠大空の家、施設長）	
		子育て支援と心理職の役割	◎	33分	八木　安理子（同志社大学、客員教授）	
B-2-7	病気や障害のある子どもや家族の支援（201分）	病気・障害とこころ	◎	45分	黒木　俊秀（九州大学、教授）	5,500円
		重い病気の子ども：障害とこころ　―病気の子どもの心理支援―	◎	69分	藤野　陽生（大阪大学、准教授）	
		障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	◎	40分	田熊　立（千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長）	
		強度行動障害の理解と支援の実際	◎	47分	高橋　潔（鉄道弘済会、理事）	
B-2-8	精神医療に触れる①　―身体とこころを考える―（202分）	身体とこころ　―こころを身体の面から捉える―	○	82分	黒木　俊秀（九州大学、教授） 熊野　宏昭（早稲田大学、教授） 兼本　浩祐（愛知医科大学、教授）	5,500円
		こころの病とこころの健康を考える　―精神科医療における診断―	□	74分 46分	黒木　俊秀（九州大学、教授） 山下　洋（九州大学病院、特任准教授） 杉山　登志郎（福井大学、客員教授）	
B-2-9	精神医療に触れる②（213分）	医療化／心理化とメンタルヘルスケアの社会化	◎	78分	石原　孝二（東京大学、教授）	5,500円
		こころの病とこころの薬	◎	55分	黒木　俊秀（九州大学、教授）	
		心と体の境界域：慢性一次性疼痛の臨床	△	80分	黒木　俊秀（中村学園大学、教授） 杉山　登志郎（福井大学、客員教授）	

発達臨床研修【3時間を基本とした講義セット】

※臨床発達心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-2-10	医療現場の実践　ートラウマインフォームドケアに焦点をあててー (193分)	保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	◎	64分	大岡　由佳（武庫川女子大学、准教授）	5,500円
		医療従事者の虐待対応とその後ーTICの視点から	○	85分 21分 23分	毎原　敏郎（兵庫県立尼崎総合医療センター、医師） 大岡　由佳（武庫川女子大学　准教授） 黒木　俊秀（中村学園大学、教授）	
B-2-11	社会的養護における心理支援（196分）	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割１：小学校年齢児	◎	66分	藤原　誠（子どもの虹情報研修センター、研修課長）	5,500円
		社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割２：思春期・青年期	◎	57分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長）	
		生活の営みとところ ー児童養護施設における暮らしを通して考えるー	□	73分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長） 松永　忠（社会福祉法人別府光の園、統括施設長） 国分　美希（社会福祉法人至誠学舎立川　至誠大空の家、施設長）	
B-2-12	司法分野における支援のための基礎知識（187分）	司法における人間へのまなざし	◎	49分	廣瀬　健二（元裁判所判事）	5,500円
		司法・犯罪分野における特有の感情の理解	◎	69分	門本　泉（大正大学、教授）	
		反省や内省を促す心理職の関わり	○	45分 24分	石川　隆行(宇都宮大学共同教育学部、准教授） 門本　泉（大正大学、教授）	
B-2-13	司法・犯罪分野における心理支援① (206分)	司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味 ー児童自立支援施設における支援と子どもの育ちー	△	62分 27分	富田　拓（北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師） 村瀬　嘉代子（日本心理研修センター顧問大正大学客員名誉教授）	5,500円
		逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達の課題の理解 ーある事例をもとにー	○	86分	富田　拓（北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師） 野坂　祐子（大阪大学、教授） 田中　康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ、医師）	
		子どもの権利擁護と法制度	◎	31分	高橋　温（新横浜法律事務所、弁護士）	
B-2-14	司法・犯罪分野における心理支援② (185分)	家庭内紛争の中にいる子どもの心理	○	46分 44分	安保　千秋（都大路法律事務所、弁護士） 熊上　崇（和光大学、教授）	5,500円
		司法関係者等との有効な連携を図るためのアセスメントと関わり ー司法分野におけるアセスメントと司法面接ー	○	38分 57分	寺村　堅志（常磐大学、教授） 仲　真紀子（理化学研究所、立命館大学、教授）	
B-2-15	司法・犯罪分野における心理支援③ (195分)	加害者支援と犯罪被害者支援	○	40分 33分 37分	寺田　孝（川越少年刑務所、法務教官） 齋藤　梓（上智大学総合人間科学部、准教授） 対談	5,500円
		依存症の理解と対応	◎	85分	松本　俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部部长(兼任)薬物依存症センター、センター長）	
B-2-16	産業分野における支援のための基礎知識（218分）	外部EAB論　～若手の退職事例～	◎	62分	田中　勝男（公認会計士）	5,500円
		復職支援（リワーク）	◎	60分	三宅　美樹（トヨタ車体研究所）	
		雇用に関わる法とルール　対談 ～労働法と就業規則の枠組を知る～	△	96分	小島　健一（弁護士） 三宅　美樹（トヨタ車体研究所）	
B-2-17	職場における心理的健康を考える (192分)	社会集団・組織と心身の健康	◎	61分	山口　裕幸（九州大学、教授）	5,500円
		組織論　～若手社員のうつ反応～	◎	71分	佐藤　恵美（メンタルサポート＆コンサル沖縄）	
		産業精神保健論	◎	60分	高野　知樹（神田東クリニック、院長）	